

農山漁村振興交付金(山村活性化対策) 評価シート

1. 事業実施主体(評価者)	ブナの里山村活性化推進協議会	事業開始年度	目標年度	事業実施期間(令和3年度)			
2. 取組振興山村名	黒松内町(黒松内村、熱郭村、樽岸村)	令和元年度	令和3年度	令和3年4月1日～令和4年3月31日			
3. 事業費(うち国費)	9,975,093円(9,975,086円)						
4. 第三者氏名	株式会社コムズワーク代表取締役/農業生産法人コムズファーム代表取締役 竹ノ内久	教育機関 関係者	産業界 関係者	マスコミ 関係者	農林水産業 関係者	消費者	その他
5. 事業評価							
総合評価							
○ 取組の実施状況や目標の達成に必要な取組が十分に行われたか。 (①から④までを踏まえた総合的な評価)		(評価理由及び助言等のコメント)					
評価 (該当に○)	(A) (B) (C) 重点指導対象	○関係団体と連携し、LINEを活用したグループをつくり意見交換が行われるなど住民を巻き込みながら、積極的な事業展開がなされている。 ○継続的な事業実施により、令和3年度の数値目標を達成しており総合的にAと評価する。					
① 取組状況							
○ 目標の達成に資するための取組が行われたか。		(評価理由及び助言等のコメント)					
評価 (該当に○)	(A) (B) (C) 重点指導対象	○「黒千石大豆あられ」の製造業者の変更による生産体制の確立が行われており、前年度の課題をしっかりと解決している。 ○3つの商品開発がなされ、目標をしっかりと達成している。 ○販売拡大に向けて、道の駅スタッフを巻き込んだ売り場づくりや、黒松内ブランドのECサイトを立ち上げるなどの取り組みがみられることは、事業完了後の継続的な販売拡大につながる取組として高く評価する。					
② 事業実績							
○ 事業実施計画の目標は達成できているか。		(評価理由及び助言等のコメント)					
評価 (該当に○)	(A) (B) (C) 重点指導対象	○令和3年度の目標として掲げた3つの目標(商品開発数、売上、雇用人数)を全て達成し、特に開発商品数においては当初目標の2倍、売上についても当初目標の1.5倍を達成しており、高い評価に値する。					
③ 実施体制							
○ 事業実施主体の取組体制は十分に機能したか。		(評価理由及び助言等のコメント)					
評価 (該当に○)	(A) (B) (C)	○当初の計画通りに、協議会とワーキング会議の開催を実施しているとともに、コロナ禍において、ワーキングメンバーのLINEグループによる意見交換も取り入れるなど密な情報共有、連携により事業を推進している点は高く評価する。 ○また、ワーキンググループを事業完了後も継続させ、持続的な商品開発の体制を整えていることについても高く評価する。					
④ その他							
○前年度要望した事業完了以後の持続的な商品開発体制の構築について、今後も継続して商品開発に取り組んでいく意欲が感じられる。今後のさらなる発展に期待したい。							

※複数名の学識経験者等第三者から意見聴取している場合、第三者間で調整した意見結果を記載する。